

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（検査促進枠）の実施状況及び効果（令和3年度実施計画分）

No.	事業名	事業の分類	事業概要	事業の実施状況及び効果	総事業費	臨時交付金 充当経費
1	ワクチン・検査パッケージ等に向けた 無料PCR検査等実施事業	定着促進事業分	定着促進事業として、無料検査を実施する検査機関、薬局等の事業者を支援する。	無料検査として、PCR検査4,843件、抗原定量検査19件、抗原定性検査6556件を実施。GoToトラベルキャンペーン等で陰性確認を行いたい方、県外から鳥取にいられた方等の検査ニーズに応えることができた。	80,425,346	80,425,346
2	ワクチン・検査パッケージ等に向けた 無料PCR検査等実施事業	一般検査事業分	感染拡大時に感染不安がある無症状の県民に対して検査受検を要請した場合の検査費用を無料化するため、無償検査を実施する検査機関、薬局等の事業者に対して検査費用を補助する。（無料検査については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（検査促進枠）を8割充当、残りの2割部分に同交付金（通常分）を充当）	無料検査として、PCR検査290,157件、抗原定量検査335件、抗原定性検査31,936件を実施。無症状の県民の検査ニーズ（陰性確認）に応えることができた。	3,037,047,500	2,429,638,000
3	ワクチン・検査パッケージ等に向けた 無料PCR検査等実施事業	検査体制整備等支援への対応	検査実施場所等（検査実施場所、検体採取場所）の整備に係る経費を補助し、県営会場やコールセンターの運営を行う。	・県営会場 県中部と西部に各1箇所の臨時無料PCR検査拠点を設置。また、土日やお盆期間等検査ニーズの多い期間に検査体制を拡充する等、検査ニーズ（陰性確認）に応えることができた。 ・コールセンター 問合せ専用窓口オペレーターを2名配置し、10,136件の問い合わせに対応した。	305,391,000	305,391,000